

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4 1 9 0 6 0 0 1 0 8		
法人名	株式会社 サンライズ		
事業所名	グループホーム ゆつつらーと		
所在地	佐賀県武雄市武雄町富岡10101番地3		
自己評価作成日	平成26年11月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成26年12月5日	外部評価確定日	平成26年12月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>自立・快適・安心をグループホームゆつつらーとのモットーとして、自然豊かな環境の中で、自立して「自分のペースで」「自分らしく」「快適に」「安心して」生活してもらえるように取り組んでいます。</p> <p>10月より管理者が変わり、各棟の職員で話し合い、各棟の処遇理念を決定して、実践することにより、ゆつつらーとのモットーがより実現するように努めています。</p> <p>介護計画については、認知症による行動に目を奪われることなく、個人の歴史や生活スタイルのアセスメントを深め等その人の全体を関心の対象に計画を作成し、生きる意欲が湧く支援ができるよう、取りかかっているところです。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>周囲は緑豊かで自然の多い静かな環境である。木造平屋の2ユニットのホームは、傾斜の土地に2つのユニットが立てられている。ユニットそれぞれの個性を十分に発揮し、2ユニットで一つではなく、各ユニットの入居者同士は「隣に住んでおられる近所の人」のような感覚で生活されている。それぞれのホームの中心に吹き抜け中庭が設けられており、フロアーに自然光が差し込み明るい。掃除も行き届き、臭気も感じさせないホームである。入居者と職員とのやりとりも穏やかで、笑いあふれる会話がなされ、日頃の支援を物語っている。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	自立・快適・安心をモットーとして、自分のペースで・自分らしく・快適に・安心して生活できるよう支援する。 今年度は、職員で話し合い処遇理念を作り、確認し合って実践に繋がるよう努力している。安全・健康・信頼を掲げ、具体的に実践内容を決定した。	自立・快適・安心をモットーとして、自分のペースで・自分らしく・快適に・安心して生活できるよう支援する。 今年度は、職員で話し合い処遇理念を作り、確認し合って実践に繋がるよう努力している。安全・健康・オンリーワンを掲げ具体的に実践内容を決定した。	職員で話し合い作成された処遇理念は、各ユニットそれぞれ特徴を活かし掲げている。共有・実践のために、玄関に掲示し、毎日行なわれる朝礼時に唱和し日々確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入所者の方々と地域の祭りに参加したり、地区の回覧板も回してもらい、地域の情報がとれるようにしている。地域の草払い等へも参加している。 地域の保育園児の来荘もあり、遊戯を披露してもらい、交流を図っている。	入所者の方々と地域の祭りに参加したり、地区の回覧板も回してもらい、地域の情報がとれるようにしている。地域の草払い等へも参加している。 地域の保育園児の来荘もあり、遊戯を披露してもらい、交流を図っている。	自治会に加入し区費の支払いも行なっている。地域の回覧板や運営推進会議で情報を得て、地域活動や清掃作業にも参加している。また、地域の保育所や近隣の人との交流があり、近隣の人より野菜を頂くことも多く、日常的な交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて、認知症についての理解を深めてもらうよう、努めている。	運営推進会議にて、認知症についての理解を深めてもらうよう、努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回、運営推進会議を開催し、施設の行事や利用状況を報告又、地域の情報を聞くことにより、サービスの向上に努めている。	2カ月に1回、運営推進会議を開催し、施設の行事や利用状況を報告又、地域の情報を聞くことにより、サービスの向上に努めている。	運営推進会議は、2ヶ月毎に確実に行なわれ、入所者家族、自治会長、民生委員、地域包括支援センターなどの参加で行われている。施設内の状況を伝え、地域の情報を得て、サービスの向上に努めている。議事録も記載されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に市町村の担当者の出席をお願いしており、事業所からの報告を行い、分からない事は、尋ねている。	運営推進会議に市町村の担当者の出席をお願いしており、事業所からの報告を行い、分からない事は、尋ねている。	行政担当者の運営推進会議への参加もあり、情報を共有したり、協議が必要な事例を相談できる関係ができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	センサーを活用して、危険防止を図り、身体拘束のない施設づくりをしている。 関連施設との身体拘束委員会を毎月実施し、身体拘束についての理解を深めている。	センサーを活用して、危険防止を図り、身体拘束のない施設づくりをしている。 関連施設との身体拘束委員会を毎月実施し、身体拘束についての理解を深めている。	身体拘束については、研修を行ない、全ての職員は身体拘束の内容とその弊害について理解している。玄関は、日中施錠はなく、安全のための居室でのセンサーの設置は必要最小限に努め、安全を確保しつつ自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	関連施設との高齢者虐待防止委員会を毎月実施し、虐待防止についての理解を深め、施設に持ち帰り、職員へ周知している。 管理者は高齢者虐待法についての研修を受けており、常に指導できる。	関連施設との高齢者虐待防止委員会を毎月実施し、虐待防止についての理解を深め、施設に持ち帰り、職員へ周知している。 管理者は高齢者虐待法についての研修を受けており、常に指導できる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は、在宅介護支援センターに勤務した経験があり、権利擁護についての知識がある。 現在1名が、成年後見人制度を活用している。	管理者は、在宅介護支援センターに勤務した経験があり、権利擁護についての知識がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書にて、解りやすく、説明している。 変更時も、解りやすく説明している。	契約書・重要事項説明書にて、解りやすく、説明している。 変更時も、解りやすく説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画書作成時や面会時に意見を聞いている。 通常も主任が電話等で家族への状況報告を行っている。	介護計画書作成時や面会時に意見を聞いている。 通常も主任が電話等で家族への状況報告を行っている。	日頃より、入居者やその家族が意見を言い易い関係を築いている。ご家族との面会時に入所者の様子を伝え、意見や要望の聴き取りに努めている。苦情相談窓口も明記され、意見箱の設置もあり、出された意見や要望は検討し運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、ミーティング(職員会議)を実施しており、職員の意見を聞く機会を設けている。	毎月、ミーティング(職員会議)を実施しており、職員の意見を聞く機会を設けている。	毎月、職員会議を行い、職員の意見や要望、アイデアを聞く機会を設けている。現場を熟知している職員の意見を十分聴きながら、職員一人ひとりが働きやすい職場環境を目指している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職場環境、条件の整備に努力している。 細目に管理者・職員との面会を持ち、要望を聞き取っている。	代表者は、職場環境、条件の整備に努力している。 細目に管理者・職員との面会を持ち、要望を聞き取っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での研修会を毎月実施している。	法人内での研修会を毎月実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	佐賀県認知症グループホーム協会に入会しており、情報交換ができるようにしている。	佐賀県認知症グループホーム協会に入会しており、情報交換ができるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族の入所相談の後、入所前に自宅を訪ね、本人にお会いし、現在の困りごと等聞きながら信頼関係の構築に努めている。	家族の入所相談の後、入所前に自宅を訪ね、本人にお会いし、現在の困りごと等聞きながら信頼関係の構築に努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所相談時や入所前自宅訪問時に管理者及び計画作成担当者が、現状の家族の負担や困りごとをお聞きし、事業所のサービス内容や費用について説明を行っている。	入所相談時や入所前自宅訪問時に管理者及び計画作成担当者が、現状の家族の負担や困りごとをお聞きし、事業所のサービス内容や費用について説明を行っている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容によっては、様々な選択肢があることを説明し、もっとも必要とされるサービスの紹介を行っている。	相談内容によっては、様々な選択肢があることを説明し、もっとも必要とされるサービスの紹介を行っている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と共に、毎日の洗濯物、干しやたたみを行っている。 利用者同士でも、高齢の方へのいたわりがみられる良い雰囲気づくりができている。 干し柿づくり等は利用者の方が先生になっている。	利用者と共に、毎日の洗濯物、干しやたたみを行っている。 利用者同士でも、高齢の方へのいたわりがみられる良い雰囲気づくりができている。 干し柿づくり等は利用者の方が先生になっている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所者とその家族の関係や気持ちを傾聴し、悩みや喜びを共感できるように、入所者の日頃の様子を報告したりドライブや、病院受診に一緒行ってもらったり、散髪に一緒に行かれる方もおられる。	入所者とその家族の関係や気持ちを傾聴し、悩みや喜びを共感できるように、入所者の日頃の様子を報告したりドライブや、病院受診に一緒行ってもらったり、散髪に一緒に行かれる方もおられる。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	孫の成長を楽しみにされている方、家族の心配をされている方等、電話等での連絡介助を行っている。 家族の写真等を持って来られている方も多い。	娘と一緒に以前より行きつけの美容室に通っている方もおられる。 家族の写真等を持って来られている方も多い。	本人がこれまで大事にしてきた関係について、日常会話や家族からの情報を得て支援につなげている。近隣の友人の来訪があったり、馴染みの美容室へ家族の方が送迎されたり、来所に対応したり、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、席の位置に配慮している。 職員は利用者を利用者の間に入り、話題を提供している。	利用者同士の関係を把握し、席の位置に配慮している。 職員は利用者を利用者の間に入り、話題を提供している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された家族からの連絡があったり、施設より近況を尋ねたりしている。入所相談に来られた方にもフォローをしている。	退所された家族からの連絡があったり、施設より近況を尋ねたりしている。入所相談に来られた方にもフォローをしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いや意向を把握するよう努めている。 意思疎通の困難な利用者は普段の態度や表情にて意向を読みとるように努力している。	利用者の思いや意向を把握するよう努めている。 意思疎通の困難な利用者は普段の態度や表情にて意向を読みとるように努力している。	日々の関わりの中で利用者の思いや意向を把握するよう努めている。画一化したケアにならないよう、一人ひとりの希望や意向の把握に努め、職員で共有している。把握が困難な場合は、本人の表情や仕草から汲み取るように心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族からの聞き取りにて、状況把握に努めている。 1度・2度の聞き取りや家族だけでも見えてこない所があると思うので、随時聞き取りを続けて行き生活の中に活かしてもらいたいと考えている。	本人・家族からの聞き取りにて、状況把握に努めている。 1度・2度の聞き取りや家族だけでも見えてこない所があると思うので、随時聞き取りを続けて行き生活の中に活かしてもらいたいと考えている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの1日の暮らし方を観察し、本人のできる事やできない事、心身の状況を把握し、個々の1日のペースを大切にしている。	それぞれの1日の暮らし方を観察し、本人のできる事やできない事、心身の状況を把握し、個々の1日のペースを大切にしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族の意見・かかりつけ医師の意見・ケアプラン評価や総合評価は介護職員や看護職員意見を聞きながら評価し、介護計画の原案作成を行っている。 サービス担当者会議にて、再度検討し介護計画を作成している。	利用者・家族の意見・かかりつけ医師の意見・ケアプラン評価や総合評価は介護職員や看護職員意見を聞きながら評価し、介護計画の原案作成を行っている。 サービス担当者会議にて、再度検討し介護計画を作成している。	利用者、家族には日々の関わりの中で、思いや意向を聞き取り、関係する職員やかかりつけ医の意見も含めアセスメントを行い、現状に即した介護計画が作成されている。また、定期的にモニタリングと評価を行い、計画の見直しが行なわれている。なお、状態に変化が生じた場合には、速やかに見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録については計画作成担当者は大切なアセスメントとして、位置づけて情報の収集に努めている。	介護記録については計画作成担当者は大切なアセスメントとして、位置づけて情報の収集に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	サービス担当者会議は、本人の短期計画についてのサービス内容についての検討が多く、サービス内容が拡がりつつある。 又、介護計画書1の総合的な援助方針をしっかりと定めることで、サービスの対応の統一化を目指している。	サービス担当者会議は、本人の短期計画についてのサービス内容についての検討が多く、サービス内容が拡がりつつある。 又、介護計画書1の総合的な援助方針をしっかりと定めることで、サービスの対応の統一化を目指している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	防災に関する連携で、避難場所を近隣のお寺にお願いしたり、地域の消防団との連携はとれている。 施設の近くの川良地区の運動公園で地域の高齢者の方との交流ができる。	防災に関する連携で、避難場所を近隣のお寺にお願いしたり、地域の消防団との連携はとれている。 施設の近くの川良地区の運動公園で地域の高齢者の方との交流ができる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設の協力医療機関だけでなく、以前からのかかりつけ医師への通院の方も多い。 以前よりのかかりつけ医師と施設との関係もスムーズ行っており、サービス担当者会議への照会にも応じてもらっている。	施設の協力医療機関だけでなく、以前からのかかりつけ医師への通院の方も多い。 以前よりのかかりつけ医師と施設との関係もスムーズ行っており、サービス担当者会議への照会にも応じてもらっている。	本人や家族の意向を大切に、かかりつけ医の継続受診を実施している。通院は、家族の送迎を基本としているが、無理な場合は職員で対応している。提携医療機関の受診も含め、受診結果は家族に適切に報告し、説明を行なっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の健康は職員全員で守ろうという意識が高く、日々の情報交換がしっかり出来ており、状態の変化を早期に発見できている。	利用者の健康は職員全員で守ろうという意識が高く、日々の情報交換がしっかり出来ており、状態の変化を早期に発見できている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した場合は、職員が面会に行き、状況の把握を行っている。	利用者が入院した場合は、職員が面会に行き、状況の把握を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の方が重度化した場合における対応に関わる指針について、説明し同意を得ている。 緊急対応協力医療機関 新武雄病院。	利用者の方が重度化した場合における対応に関わる指針について、説明し同意を得ている。 緊急対応協力医療機関 新武雄病院。	利用者や家族と契約時に重度化した場合の方針を確認し、ホームでできる支援について理解を得ている。利用者の重度化が進むと、家族や主治医を交えて今後の対応を話し合い病院や施設への転居を考慮し、利用者にとって最善の方法になるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	武雄消防署員より、応急手当について研修を受けている。 夜間の緊急マニュアルも整備している。	武雄消防署員より、応急手当について研修を受けている。 夜間の緊急マニュアルも整備している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災の避難訓練及び消火訓練を年2回実施している。 避難場所は近隣の明覚寺の協力を得ている。	火災の避難訓練及び消火訓練を年2回実施している。 避難場所は近隣の明覚寺の協力を得ている。	消防署、地域の消防団立会いの下、年2回火災、避難訓練が行われている。入居者も含め夜間を想定した訓練が行われている。全職員が避難誘導場所、経路確認、消火器の設置場所や取り扱いの確認を行い、身に付けている。	施設周囲は住宅があり、火災に対する不安認識は強いと思われる。出来れば施設周囲の人との協力を得て、実際の夜間訓練を行い、災害対策として、非常食の備蓄を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は、個々のプライバシーに配慮した言葉かけにて、対応するよう心がけている。	職員は、個々のプライバシーに配慮した言葉かけにて、対応するよう心がけている。	職員は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、排泄介助や入浴介助には声掛けに気配りしながら誘導するなど、誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意思を尊重し、自己決定ができるよう支援している。	本人の意思を尊重し、自己決定ができるよう支援している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分のペースで、自分らしく、快適に安心して生活していただけるように努めている。	自分のペースで、自分らしく、快適に安心して生活していただけるように努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の整髪や外出時の服装のコーディネーションの支援を行っている。	朝の整髪や外出時の服装のコーディネーションの支援を行っている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、個々の好き嫌いを把握している。 栄養士が季節感のある旬の食材を利用したメニューを取り入れている。 利用者の中には、包丁を使うことができる方もおり、柿むき等一緒に行ったり、お盆拭きしたりをしている。	職員は、個々の好き嫌いを把握している。 栄養士が季節感のある旬の食材を利用したメニューを取り入れている。 利用者の中には、包丁を使うことができる方もおり、柿むき等一緒に行ったり、お盆拭きしたりをしている。	献立は、法人の栄養士がたて、それぞれの施設で調理されている。入居者の能力を活かし、それぞれ役割で手伝ってもらっている。 職員は、弁当を持参しているが、入居者と同じテーブルを囲んで、おしゃべりしながら、ゆっくりした食事時間をつくっている。誕生会や行事で特別なメニューも実施している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士により、1日約1600kcalで献立が作成されており、個々の食事量や水分量のチェックをしており、食事及び水分の確保ができるよう支援している。糖尿病の方には、主食でkcal調整しており、毎回ご飯の量を測り提供している。	栄養士により、1日約1600kcalで献立が作成されており、個々の食事量や水分量のチェックをしており、食事及び水分の確保ができるよう支援している。糖尿病の方には、主食でkcal調整しており、毎回ご飯の量を測り提供している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨き支援を行っている。 又、協力歯科医院より、訪問してもらい入れ歯の調整など行ってもらっている。	毎食後、歯磨き支援を行っている。 又、協力歯科医院より、訪問してもらい入れ歯の調整など行ってもらっている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排泄リズムに合わせて、排泄介助を行っている。 日中はほとんどの利用者がトイレで排泄できている。	利用者の排泄リズムに合わせて、排泄介助を行っている。 日中はほとんどの利用者がトイレで排泄できている。	トイレで排泄できるように、職員は利用者の排泄パターンや生活習慣を把握し、利用者の仕草や表情を察知して、羞恥心に配慮した排泄誘導を行い、昼夜ともにトイレでの排泄支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の有無を毎日確認している。 水分補給や適度の運動の機会を提供している。	排泄の有無を毎日確認している。 水分補給や適度の運動の機会を提供している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	夏場は週3回、冬場は週2回の入浴機会を設けている。 入浴日に入浴できなかった場合は翌日に入浴してもらっている。	夏場は週3回、冬場は週2回の入浴機会を設けている。 入浴日に入浴できなかった場合は翌日に入浴してもらっている。	入浴は、基本的に冬場は週2回であるが、利用者の都合に合わせて入浴援助を行なっている。体調が悪い人や入浴を嫌がる人には、無理強いせず、清拭や入浴日を変更し対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分のペースで好きな時、好きな時間に休息してもらっている。	自分のペースで好きな時、好きな時間に休息してもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が管理し、副作用などについての説明を職員に行っている。 管理については、マニュアルを作成し、事故防止に努めている。 誤薬があった場合は、看護師に報告し医師より指示をもらうようにしている。	看護師が管理し、副作用などについての説明を職員に行っている。 管理については、マニュアルを作成し、事故防止に努めている。 誤薬があった場合は、看護師に報告し医師より指示をもらうようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員は利用者個々の力量を把握しており、その人に合わせた役割づくりを行っている。 利用者個々の趣味への関心を示し、サポートしている。	職員は利用者個々の力量を把握しており、その人に合わせた役割づくりを行っている。 利用者個々の趣味への関心を示し、サポートしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見や紅葉などへの外出支援を行っている。 又、天気が良い時は利用者の希望で近くへドライブに出かけている。	花見や紅葉などへの外出支援を行っている。 又、天気が良い時は利用者の希望で近くへドライブに出かけている。	利用者より要望があれば、天候や体調をみて近所への散歩やドライブなど、短時間でも戸外に出る機会をつくっている。また、四季の変化を肌で感じられるよう、花見や紅葉狩り、各地域のイベントなど外出支援が計画され実践されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者個人でお金の管理をしている方はいない。 欲しい物があられる場合は家族へ連絡しお願いしている。	利用者個人でお金の管理をしている方はいない。 欲しい物があられる場合は家族へ連絡しお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、いつでも自由に電話をしてもらっている。	希望があれば、いつでも自由に電話をもらっている。		
52 (19)		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁を利用して、季節感をだしている。 居間には、椅子・テレビを置いて楽しくテレビ観戦をされている。	壁を利用して、季節感をだしている。 居間には、椅子・テレビを置いて楽しくテレビ観戦をされている。	リビングの壁面には、入居者手作りのカレンダーや季節感を感じられるような小物が掲示されている。ホーム中央に吹き抜け(中庭)があり、その周囲で、利用者同士がくつろいで過ごしている。自然光が差し込み、入居者の要望に合わせてカーテンなどで調整している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂と居間を活用することにより、一人でも気の合った利用者同士でも思い思いに過ごせる環境ができている。 利用者個々がマイペースで過ごされている。	食堂と居間を活用することにより、一人でも気の合った利用者同士でも思い思いに過ごせる環境ができている。 利用者個々がマイペースで過ごされている。		
54 (20)		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、基本的には利用者本人の好みで自由してもらっている。 本人ができない方には利用しやすいように、心がけて支援している。 家族の写真など思い出になるものを持ち込まれている方も多い。	居室は、基本的には利用者本人の好みで自由してもらっている。 本人ができない方には利用しやすいように、心がけて支援している。 家族の写真など思い出になるものを持ち込まれている方も多い。	入居者一人ひとりの使い慣れた好みの物が持ち込まれている。施設で用意されたボードには、思い思いの飾り付けや家族の写真などが飾られ、落ち着いて過ごせるような居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	そっと、見守り観察しながら、必要な時に手助けできるようにしている。	そっと、見守り観察しながら、必要な時に手助けできるようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)  
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
			○	2. 利用者の2/3くらいの
		○		3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
			○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○		3. 利用者の1/3くらいが
			○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)		○	1. ほぼ全ての利用者が
		○		2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。  (参考項目:28)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。  (参考項目:9,10,19)	○		1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。  (参考項目:2,20)	○		1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。  (参考項目:4)	○		1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。  (参考項目:11,12)	○		1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○		1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない